

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年12月 7日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	2号機	コントロール建屋1階南西に設置されている閉鎖扉(管理区域との境界)において、扉の金属枠とコンクリート壁面沿いの隙間(左右に各々 幅 2mm程度)より、非管理区域側から管理区域側へ空気の漏えい(ペーパータオルが揺らぐ程度)が認められたため、当該扉を修理。 なお、当該扉枠(管理区域側、非管理区域側とも)の全周にテープによる養生を実施し、空気の漏えい停止を確認した。	G III	12月3日
2	3・4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系加熱器(B)凝縮水導電率計において、当該導電率計の取付部から凝縮水と思われる水の滲み(滴下はない)が認められたため、当該導電率計の取付部を点検・修理。 なお、導電率計の下部に受け皿を設置。 高電導度廃液系濃縮器は3系統あるため、濃縮器(B)を停止しても残り2系統で廃液処理ができることから、廃棄物処理設備の運転に影響はない。	G III	12月5日